

◆ 確認問題 ◆

→p.112

- 1 (1) 日米和親条約 (2) 下田, 函館
 (3) 井伊直弼 (4) 領事裁判権〔治外法権〕
 (5) 安政の大獄 (6) 生糸 (7) 長州
 (8) 薩摩 (9) 坂本龍馬
 (10) ええじゃないか (11) 徳川慶喜
 (12) 戊辰戦争
- 2 (1) 五箇条の御誓文 (2) 版籍奉還
 (3) 廃藩置県 (4) 平民 (5) 富国強兵
 (6) 学制 (7) 徴兵令 (8) 3%
 (9) 殖産興業 (10) 富岡製糸場
 (11) 屯田兵 (12) 学問のすゝめ
 (13) 中江兆民
- 3 (1) 岩倉使節団 (2) 征韓論
 (3) 日朝修好条規 (4) ロシア (5) 沖縄

◆ ビジュアルチェック ◆

→p.113

- 1 A ペリー B 日米和親条約
 C 日米修好通商条約 D 安政
 E 薩長同盟 F 戊辰
 G 五箇条の御誓文 H 版籍奉還
 I 廃藩置県 J 学制
 K 地租改正 L ロシア
- 2 A 関税 B 領事
- 3 A 綿織物 B 生糸
- 4 A 3 B 所有者 C 現金
- 5 A 福沢諭吉 B 学問のすゝめ
- 6 A 日清修好 B 樺太・千島
 C 日朝修好 D 沖縄

◆ 練習問題 ◆

→p.114 ~ p.115

- 1 (1) ペリー (2) ア, エ
 (3) Xウ Yオ
 (4) (例) 関税自主権がない(8字)〔関税率を決められない(10字)〕
 (5) 安政の大獄, エ
 (6) エ (7) 坂本龍馬 (8) ア
 (9) ウ→ア→イ
- 2 (1) エ (2) イ (3) ウ (4) 学制
 (5) ①文明開化 ②福沢諭吉

- (6) ①殖産興業 ②イ
 (7) (例) 地価の3%の税を現金で納めさせることとした。
 (8) ウ (9) エ

解説

- 1 (1)(2) 幕府は、ペリーと日米和親条約を結び、下田(静岡県)と函館(北海道)の2港を開くこと、アメリカ船に食料・水・石炭などを供給することを認めた。
- (4) 「関税自主権」の語句を用いるのが望ましい。関税自主権がないため、日本は輸入品の関税率を自由に決めることができなかった。そのため、安価な綿織物が大量に輸入された。
- (6)(7) 4か国の艦隊に下関砲台を占領された長州藩と、イギリス艦隊に鹿児島を砲撃された薩摩藩は、攘夷が困難であることをさとり、1866年、倒幕をめざして薩長同盟を結んだ。
- (8) このころ、江戸や大阪をはじめ全国各地で世直しを期待する一揆がおこった。
- (9) 新政権での影響力を残そうと考えた徳川慶喜は、1867年、政権を天皇に返すことを申し出た(大政奉還)。しかし、朝廷は、同年、王政復古の大号令を発表して、慶喜に官職や領地の返上を命じた。これに不満な旧幕府は、1868年、鳥羽・伏見(京都府南部)で新政府と戦争をおこしたが敗れた。続いて新政府は、新しい政治の方針として五箇条の御誓文を発表して、東北諸藩の抵抗を打ち破り、1869年5月に函館で旧幕府の軍をすべて降伏させた。
- 2 (1) 新政府は、明治天皇が役人たちを従えて神々に誓うという形で五箇条の御誓文を出し、新しい政治の方針を示した。
- (2) 廃藩置県によって、中央から府知事や県令(のちの県知事)が派遣されるようになったため、中央集権国家の基礎がかためられた。
- (4) 学制によって全国に小学校がつくられたが、学校の建設費や教員の給料などは住民の負担であったため、初めは就学率が低かった。
- (7) 「地価」、「税」、「現金」の語句を用いること。税率も加えるのが望ましい。地租改正によって政府の収入は安定し、財政の基礎が固まった。
- (8) 樺太・千島交換条約によって、樺太がロシア領に、千島全島が日本領になった。
- (9) 朝鮮は、日本との国交をこぼんでいたが、日本は、1875年に江華島でおこった武力衝突をきっかけに、翌年、朝鮮にとって不平等な日朝修好条規を結び、朝鮮を開国させた。